

2024年(令和6年)

第70号

(4月1日)

平安だより

HEIAN letter

発行所：立正佼成会 京都教会
発行責任者：渉外部長 澤村悦玄
編集委員長：渉外広報 植田恭司
〒605-0041 京都市東山区三条東町 230
TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

今月のことば ～「あるがまま」を受け入れる～ 亀岡支部会計 徳久友子

今月は亀岡支部の徳久が担当させて頂きます。よろしくお祈りします。

4月号は『「あるがまま」を受け入れる』とのご法話を頂きました。

先日、福井県に結婚し養子に入った息子に2人目の孫の初節句のお祝いに行くと言っていると話しをすると、せっかく来るのだったら一緒に温泉に一泊して美味しいものを食べに行こうと言ってくれ、とても嬉しく思いました。

ところが、養子先のご両親も一緒にとの事でしたので、気を使うのが嫌だから、お祝いは日帰りで行くと断っていたのですが、息子はこんな機会はなかなかないからと言ってくれたので、一緒に行くことにしました。旅行先で2月が私の誕生日、3月が養子先のお母さんの誕生日で、一緒にお祝いをすると思っていたことを知りました。息子の2人の親に対する優しい心を知ることができ、感謝でした。

息子の2歳8ヶ月になる孫は私のことを「よしえさん(本名)」と呼びます。向こうのお母さんには「ばあば」と呼んでいます。最初はなんかよそよそしく、毎日顔を合わせているお母さんとの違いかなと思って、少し淋しく思いましたが、孫にとっては「よしえさん」も「ばあば」も同じおばあちゃんなんだと思えると、可愛く「よしえさん元気でねー」と見送ってくれる言葉が、とても嬉しく思うことができました。

そんな中、私には娘2人と息子の3人の子供がいますが、一人息子を養子に出したことで、本人は一人で

生活している私のことを、とても気にかけてくれて、常々、孫と一緒にビデオ通話で話しかけてくれます。あちらのご両親も、淋しくなったらいつでも来て下さいねと言って下さり、優しく迎えて下さいます。息子夫婦やご両親に感謝です。

今、私は13年前に主人を亡くし、3人の子供達はそれぞれに家庭を持ち、私は我が家で一人暮らしの気ままな生活をしています。毎日を自分の思い通りに、自分にとって好き嫌いで物事を見ていることが多くあります。今、支部会計のお役を頂いていますが、なかなか人の話を素直に聞くことが出来ずにいます。会計の立場でお役を決めて、会員さんをお願いしている中で、お役を受けて頂けない方に「誰かと変わってもらって下さい」と言ったのですが、その話を聞かれた方から、後日、ご指摘がありました。「その受けられない方の心を聞いてあげて下さい」と言って頂いたのですが、その時はその言葉をありのままに受け入れることが出来ずにいました。

今回、会長先生のご法話の中から、物事の「ありのままのすがた」を好き嫌いなどの感情をまじえずに見て、その「あるがまま」を受け入れることができるよう、心田を耕すこと、と教えて頂きました。

これからは色々な人の話を、あるがままに聞かせて頂くことによって、よりよく生きる智慧と、人を思いやる慈悲の心を育てていける私になれるよう精進させて頂きます。ありがとうございました。 合掌

主任研修 ～地区法座をオアシスにする秘訣～

主任研修が3月24、25日に行なわれ、土日組と平日組に各支部の主任が参加しました。

講師は数々の役職を歴任された豊田氏が本部から来られ、教団創立100周年に向けての教団基本構想や信行方針のキーワードをもとに、約2時間30分の研修でした。

基本構想ではマザープログラム「惜しみなくつながる～菩薩を育てる苗代となる～」について、再確認が行なわれました。続いて、信行方針のキーワードとして、人間が進歩向上する一番大事なことは敬う心を発達させる心や恥を知ること、そして「齊家」のポイン

トについておさえられました。また、地区法座をオアシスにするための秘訣も紹介しながら、「主任は天使のまなざし笑顔で首をタテに振る。そして、少しぬけている方が良い」との話では、会場に笑みがこぼれ、終始楽しい研修となりました。

参加者からは、「何が良い悪いではなく、正思、真理に沿って考えられるよう努力していきたい」「気持ち少し軽くなって、ご供養のときに会員さんの幸せを念じて名前を読み上げたい」「めげずに気になる会員さんに何度も会いに行ってみます」「その方への寄り添い方がよく分かりました」などの感想がありました。

令和6年、私たちは「日々感謝 にこにこ元気に出会いたい ありのままの私から」を實踐して参ります。

京都教会のホームページもご覧下さい。 <https://rkk-kyoto.jp/> (右のQRコードからご覧頂けます)



春季彼岸会 ～ご先祖を思い、お戒名を読み上げ～



春季彼岸会が20日、午前10時から行なわれ、多くの参拝者がありました。

式典は経典一卷の読誦と東教会長のお言葉でした。読経供養の途中、コロナ禍以前のように支部代表者が会員から預かった思いのこもった戒名を一つずつ丁寧に読み上げました。中には自宅の過去帳すべてを持参し、自身で読み上げる方もおられ、各自が先祖に思いをはせながら命を頂いていることへの感謝の気持ちを表しました。



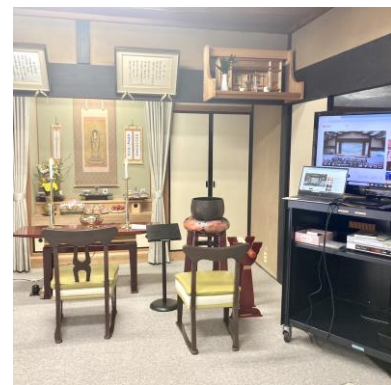
東教会長はお言葉の中で、庭野開祖の『ブドウの譬え』を紹介。「私たちはブドウの実のことしか、味わうことしか考えていないが、ブドウ作りの人たちは幹や枝葉、根を肥やすことを考える。眼に見えない土の中を肥やすことが大事であり、つまりそれは無数の先祖がおられてこそ、今の自分がいるということです」と解説されました。

続いて、先祖代々のご先祖にたっぷりの栄養を与えること。それが『ご供養』であって、仏法の栄養を供養することが、根を肥やし、今の自分たちが幸せになる秘訣だとし、ご供養の最後に『すばらしいご先祖のもとに生まれてきて本当にありがとうございます』という祈りの言葉を上げさせて頂きましょと促されました。また、庭野会長の説かれた六波羅蜜のご法話を解説、菩薩行実践の大切さを述べ、締めくくられました。

なお、宇治支部は宇治法座所で教会法座席の様子をYouTube 配信にて視聴し、亀岡支部は参拝出来なかった会員6名が21日に亀岡法座所にて前日の配信を視聴しながらかみしめを行ないました。



宇治法座所



亀岡法座所

本部ホームページを活用しましょう



立正佼成会のホームページは次の URL から見ることが出来ます。https://www.kosei-kai.or.jp/



会員サイトに入ると、さまざまな便利なページがありますので、順次、紹介していきます。

左の公式サイトは、どなたでも見ることが出来ます。

右の会員サイトは、パスワードを入力して見ることが出来ます。